



私達は、女性ではじめてお札の肖像になつた樋口一葉とは、どんな女性だったのかを調べてみようということになりました。

一葉は明治五年、東京に生

樋口一葉と

九里とみ先生は

同じ年

(明治5年) 生まれ

東京の本郷で
同じ時代の

風の中に…

★
図書館だより★

九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)

を決めて亡くなりますが、一葉はこの婚約者が嫌いで、一方的に破棄しています。

小説家として生きることを決意したのが十九歳の時です。このとき、「一葉が好きだった人といわれる半井桃水から、小説の指導を受けます。そしてこの頃から「一葉」というペンネームを使いはじめます。桃水には、女性関係のうわさがあり、周辺からの忠告で交際をやめているようです。

生活は苦しく、二十一歳で荒物、駄菓子屋を開いて生活のたしにしています。二十三歳で博文館の大橋乙羽から「文芸俱楽部」へ執筆を依頼されまます。ここに、最高傑作といわれる「たけくらべ」に「ごりえ」「十三夜」が載り、森鷗外他に激賞されます。「一葉」の名声が一挙に上がり、澤山の文学仲間が増えます。

小学校時代は草双紙を読みふける利発な子供だったそうですが、十二歳で、和歌と裁縫を習っていますが、裁縫は、近眼ということもあります。苦手だったようです。十四歳で、塾に入つて王朝文学を学んでいます。そして十五歳の時、兄が亡くなり、一葉は一家を背負うことになります。続いて、父が、無理矢理一葉の婚約者

まれています。本名はなつ。小学校時代は草双紙を読みふける利発な子供だったそうですが、十二歳で、和歌と裁縫を習っていますが、裁縫は、近眼ということもあります。苦手だったようです。十四歳で、塾に入つて王朝文学を学んでいます。そして十五歳の時、兄が亡くなり、一葉は一家を背負うことになります。続いて、父が、無理矢理一葉の婚約者

一葉を世に
出してくれた

大橋乙羽

(米沢出身)



しかし、肺結核の病状が重くなり、鷗外の紹介で名医に診てもらいうが、その甲斐もなく、才能を惜しまれながら、二十歳で米沢に帰ってきます。その後、出版社博文館の社長に見込まれてその娘と結婚。出版社の経営をまかされます。

一方、硯友社という文学グループに入り、澤山の文学者と交流、鷗外や、一葉を知るところになります。そして、自社の博文館から一葉の作品を出版し、作品が評判になります。彼は、経済的な支援もして一葉を一流の作家に押し上げたのです。

彼は、明治二年、米沢の音羽屋旅館の六男として生まれています。学校を出ると山形の呉服商に見習いに出されるのですが、彼は商いよりも文学に興味があつたようで、二十歳で米沢に帰ってきます。その後、体をこわして白布温泉で静養します。その後、会津磐梯山が爆発するのです。彼は、いち早く現場を見てそのルポを書きります。それが東京の出版社の目にとまり、記者として採用されるのです。その後、出版社博文館の社長に見込まれてその娘と結婚。出版社の経営をまかされます。



我校の創立者

九里とみ先生は、

明治五年十一月、

米沢の大町に生

まれています。先

生は、十九歳で、

福島の呉服商に嫁ぐのですが、

まもなく離婚。兄を頼つて上

京し、東京裁縫女学校(現東

京家政大学)に入学して裁縫を勉強します。この学校は、

本郷の湯島にあり、ちょうど

一葉が住んでいた本郷菊坂町

とは目と鼻の先でした。

一葉は一家を背負つて小説家になろうと頑張っている時

で、とみ先生は裁縫の先生に

思ひにかられます。一葉が二

十四歳で亡くなるまでの四年

間二人は、どこかでそれ違つ

ています。同じ歳で、同じ本郷で、同じ

時代の風を感じていたと思

うと、私達は、大発見をした

思いにかられます。一葉が二

十四歳で亡くなるまでの四年

間二人は、どこかでそれ違つ

ています。同じ歳で、同じ本郷で、同じ

時代の風を感じていたと思

うと、私達は、大発見をした

思いにかられます。一葉が二

図書館だより

2005. 2. 25

(2)

二年連続

ぶらのめされて…

ようやく悲願の優勝

縮佳那子さん

今年、私達三年五組は百人一首大会にて悲願の優勝を果たすことができました。一年二年と毎年二日目までは勝ち残るものの、決勝に至るまでに先輩のクラスにぶちのめされ、毎年悔しい思いをしましたが、今年は最上學年であり、また優勝の賞品も昨年より多いということで燃えに燃えて本番に臨みました。決勝戦で四組とあたるまでは男子クラスとばかり当たり、さらに準決勝ではたった一人を相手に戦つたり

と予想外の事態ばかりではありました。無事に優勝し、賞品を手にすることができ、最後に良い思い出になりました。

クラスマッチ

平成17年
1月17日・18日



優勝 準優勝 第三位

3年5組
3年4組
3年3組



三校合同百人一首 平成16年12月11日

九里で読みの練習

米工一年男子



十二月十一日に米沢工業で三校合同百人一首が行われました。今年から各校一名ずつ読み手を出そうということになり、自信ないと言っていた

米工の方々が九里に来て一緒に札の読み方の練習をすることになりました。本番ではその練習に来た米工の一年の男子はとても聞きやすくてよかったです。

私は、初めての参加ですが実際に百人一首をやつてみて、何回か試合をしているうちにやり方も分かつて、とても楽しめたです。

米商の百人一首クラブの方の模範試合がありました。私が飛び大迫力でした。優雅さよりも、スポーツとしての醍醐味があるのではないかと思いました。

この三校合同百人一首を通して他の学校とも交流できたのでとてもいい企画だと思います。私にとっては、九里でのクラスマッチの練習にもなり、勝つためには、何が大事かを知ることが出来ました。私は弓道部に入っています。日本古来というところが魅力ですが、百人一首も日本古来の文化というところで共通なので興味があります。

(一) 坂野 唯記

図書館だより

(3)

2005. 2. 25

九位	一一 佐藤 咲子	27 冊
八位	一一 高橋	27 冊
七位	一一 遠藤	33 冊
六位	一一 加藤	37 冊
五位	一一 金倉	42 冊
四位	一一 渡部	43 冊
三位	一一 飯野	47 冊
二位	一一 島貫 誠子	83 冊
一位	一一 島貫 誠子	83 冊

京極夏彦の世界
『崖の国物語』のトウェイツグ
は、みんな憑き物落として
陰陽師で神主。陰鬱な芥川龍
之介に似た死神を思わせる
人。口癖は「この世には不思
議なことなど何もない」とい
う台詞が似合うそんな人達ば
かりだ。もつともいい作品は
「陰摩羅鬼の瑕」だ。
彼の小説は、厚さと言葉の
古さそして内容の深さに目を

図書館貸出 ベスト10

(H16.4
~H17.1)

本喰い虫 の 并明

3年6組 島貫 誠子

私の主食は本。暴食・雑食
の本喰い虫。種類は多彩、怪
奇物・幻想物・日本文学・活
字なら何でも食す。そして漫
画は間食。私を表す形容詞は
走・本・寝の三つ。本は私の
主食でもあります。お金はいつの間にか本に変わ
る。親にはいつも「本を買う
なら御菓子を買いたい」と
言わされたものだ。

中学時代に友達から紹介さ
れた「ハリ・ポタ」や京極夏
彦氏の作品が今でも大好き
だ。中でも京極堂シリーズが
一番好き。そして直木賞を受
賞した巷説シリーズ、映画化
した「嗤う伊右衛門」も好き
だ。

京極堂シリーズの主人公
は、みんな憑き物落として
陰陽師で神主。陰鬱な芥川龍
之介に似た死神を思わせる
人。口癖は「この世には不思
議なことなど何もない」とい
う台詞が似合うそんな人達ば
かりだ。もつともいい作品は
「陰摩羅鬼の瑕」だ。

止まらなくなる。決して幸福
な展開はなく、読むと無性に
喪失感を覚える。完結はない。
終わったように見える一つの
事件は大きな流れの断片でし
かないのだ。常識に搔き乱さ
れ悶え苦しむ登場人物たち、
そして私もまたその渦に飲み
込まれている。

一筋縄では終わらない物
語。読めば読む程引き寄せら
れる。その京極の世界へと今日も
また私は出かけたくなる。

幸福な展開にならない

京極夏彦の世界

私は「崖の国物語」のトウェイツグが好きです。
トウェイツグは、ウッドトロル族の村で捨て子
だと知り、自分の故郷と居場所を求めて旅に出
ます。

3年7組 我妻 瞳



窮地に立たされても前向きに考える

『崖の国物語』のトウェイツグ

ボール・スチュワート著

カット
「崖の国物語」より

父を失つても國の為に使命を果たそうとする
トウェイツグ、誰もが果たせなかつた夢を人一倍
の勇気と正義感で果たそうとする彼に私はひか
れます。

ファンタジーではあるが、巻をおうごとに成
長していくトウェイツグの姿が鮮明になつていま
す。私も挫折したり、人にしがみついたりして、
おぼつかなく歩むことと思うが、トウェイツグ
が示す一条の光に導かれて進みたいで。

読書の楽しみ

期間限定の
読書家

今井由可先生

名著の伝記 <その5>

『風と共に去りぬ』

マーガレット・ミッチェル

私は文学部出身ではあるが、「読書家です」と胸を張つて言えないかと言つて、読書が嫌いなわけではもちろんない。奇妙な言い方だが、『期間限定読書家』なのである。どういうことかというと、不定期に、本が読みたくてたまらない時期が来るのだ。その時期が過ぎると、特に読みたい本がなければ全くと言つていいほど読まないのである。

今思ひ返せば小学生のときからそうだった。読書とは言えないが、図鑑ばかり眺めていた時期もある。動物、植物、

私は、子供も夫も全てを失った主人公スカーレットが、昂然と顔を上げ、「明日タラで考えよう、明日は明日の陽が照るのだ」という場面で終わっている。この名セリフで、どれだけ多くの人が心を揺さぶられたか計り知れない。

この小説は、子供も夫も全てを失った主人公スカーレットが、昂然と顔を上げ、「明日タラで考えよう、明日は明日の陽が照るのだ」という場面で終わっている。この名セリフで、どれだけ多くの人が心を揺さぶられたか計り知れない。

明日は明日の
陽が照る

昆虫等々。特にお気に入りだったのは、人体解剖の図鑑であった。その後江戸川乱歩や星新一の本ばかり読んだ時期もあり、中高校生の頃も、そういう時期が何回かあった。しかし、困つたことに、読書感想文を書かなければいけないときに限つて、この時期に読む気にならないのが、「期間限定読書家」やつかいなところである。

私は高校に入学してすぐの頃から図書委員会に入りたいと担任の先生に強く希望し、図書委員に選んでもらいました。図書委員になりたかった理由は母という目標がいるということと、自分の力を試してみたいという考えがあつたからです。九里祭や読書会、百人一首の活動の中で、自信をなくし、落ち込むこともありました。二〇〇三年の十二月頃、私達新三役が選ばれました。私は委員長という大役を任され、嬉しかった反面、本当に私で大丈夫なんだろうかと不安になりました。しかし、先輩方から引き継がれ、何回か委員会の活動をするうちに少しづつ不安はなくなりました。そして、私も出来ることがあるんだと前向きになることが出来ました。

私の周りにはいつだって、共に頑張つてくれる副委員長や書記という良きパートナーや委員の皆がいてくれました。私がここまで頑張つて来れたのは協力し、支えてくれた皆のおかげだと思っています。この三年間の活動で学んできたことを私の最大の宝物としているのに迷いはなかった。

アメリカは、南北戦争後の

再建を経験する

ことがあります。

活動をふりかえつて

三年六組 原 祥江

祥江

編集後記

初めての編集で、わからないことはかりで大変でしたが、なんとか完成させることができました。

樋口一葉と九里とみ先生と大橋乙羽との関係は大きな発見でした。是非みなさん読んでみて下さい。

(二年 椎野)

作者マーガレット・ミッチェルは、一九〇〇年、アトランタに生まれている。父と兄は弁護士で、歴史に詳しく、彼女も南部の歴史に特別な興味を持っていたのでここで舞台にす

るのに迷いはなかった。

アメリカは、南北戦争後の奴隸解放で、大変苦しい国の大農園の勝気な娘スカーレットでバトラーとの愛憎をからめながら書いていく。土地にしがみつこうとする彼女の叫びは、南部の人々の声でもあつたのだ。

マーガレットは、四年をかけてこの小説を書き、大ベストセラーになり、映画にもなるのだが、自動車事故で四十九歳の短い生涯を閉じている。